

日時：平成31年1月29日（火）20：00～

場所：ふれあい歯科ごとう

出席者（敬称略）：五島、豊田、澤村、佐藤（雅英）、齊藤

1. クリニカル・クエスチョン（新宿区薬剤+栄養の問題を抽出）

食事が減った：本人の訴え？本当に体重減少をするか。

「食支援」QOLを重視する観点から

① 食事が減っていると思いますか、感じますか→YESの方

どの期間で。狙いとしては春くらいから開始したいので、この半年で（6カ月の根拠は？）
問診ベースで、ご飯がおいしく食べられるかどうか。（量の低下の判定も難しい）

② 薬剤師もしくは他職種が食事の質と量に問題があると感じる「程度」でいいんじゃないか。厳密さを求めない：あくまで食べる幸せ。

項目（本人に聞くことが難しい場合→

薬剤が原因（きっかけ）になり中止するも戻らないケースがある。食量（体重）がもどる
薬剤と戻らない薬剤がある。

アンケート調査は、調査者のバイアスは必ずある。

→在宅療養患者を対象として調査シート 印刷して配布（内容を再度検討、吟味して）

個人情報に関することの説明。項目の説明：他の薬剤師にお願いする場合に分かりやすいマ
ニュアルを作成する。（目的、企画書）

進行性癌に限らず終末期を除外するかどうか、項目に入れるかどうか。薬剤師1人あたりに
人数に制限をつけるかどうか。

住居よりも新宿の薬局から訪問している人を対象としましょうか。

こ・れ・と 薬剤（処方）を解析する。

2. 新食研×薬剤師×栄養士で冊子（リーフレット）

今日は栄養士さんがいないよ。→これは来月に持ち越しましょうか。

【次回も宿題】冊子の「案」を各々考えて来ましょう！

次回、この会「齊坊主ウイング（仮）」2月26日（火）20：00～